

メンタルヘルス疾患啓発サイト 「こころの陽だまり」

全般不安症（GAD）の新規コンテンツを拡充し、リニューアル

ヴィアトリス製薬合同会社（本社：東京都港区、社長：ソナ・キム）は、メンタルヘルスに関する情報を発信する疾患啓発サイト、「こころの陽だまり（<https://www.cocoro-h.jp/>）」において、全般不安症（Generalized Anxiety Disorder／以下、GAD）に関する新規コンテンツを拡充し、サイトをリニューアルしましたので、お知らせいたします。これまで患者さんをはじめとする一般生活者の方が GAD に関する情報を入手する方法は限られていましたが、本サイトの登場により、疾患の説明から治療選択肢、セルフチェック方法、相談先の医療機関まで幅広い情報を調べることができるようになりました。



The screenshot shows the website interface for 'cocoro-no-hidamari'. At the top, there is a search bar and the VIATRIS logo. Below the navigation menu, a main banner features an illustration of a family in a park and text stating: '治療できる「心配性」があります。GAD（全般不安症）は不安症のひとつ。誰でもなりうる疾患です。' To the right of the banner are buttons for 'セルフチェック' and '病院を探す'. Below the banner is a 'PICK UP' section with a 'GAD' icon and text: 'PICK UP 漠然とした不安が続くGADの特徴と対処法とは？ GAD（全般不安症）とは →'. At the bottom, a paragraph explains the site's purpose: '「こころの陽だまり」は、「心配性」として見過ごされやすいGAD（全般不安症）を正しく理解し、自分や家族の中にある“不安の正体”に気づいていただくためのサイトです。'

GAD は、複数の出来事や活動に対して、慢性的にコントロールできない過剰な「不安」や「心配」を中心症状とする疾患です。不安や心配に加えて、十分な睡眠がとれなくなったり、筋肉が緊張して凝ったりなどの身体症状や、落ち着かない、疲れやすい、イライラする、集中できなくなること、生活や仕事において深刻な機能障害を起こすことがあります¹。世界保健機関（WHO）の報告によると、日本における GAD の生涯有病率は 2.6% と報告されており²、自己記入式質問票である GAD-7 を使用した最近の研究では、疑いを含む GAD（GAD-7 スコアが 10 点以上）の有病率が 7.6% であると報告されています³。

これまで日本には GAD に対して承認された治療剤はありませんでしたが、3 月 23 日にセロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤の「イフェクサーSR カプセル 37.5 mg、同 75 mg」（一般名：ベンラファキシン塩酸塩）が国内での「全般不安症」の適応追加に対する承認を取得し、日本で初めて GAD に対する治療剤となりました。

新たな治療選択肢の登場に伴い、今までご自身の症状を性格ととらえて我慢してきた方、症状に気づきながら受診をためらっていた方に対する GAD の情報アクセスへのニーズが高まることが予想されます。今回のリニューアルでは、「治療できる『心配性』があります。」をコンセプトに、GAD に悩む当事者の方やそのご家族、支援者、医療関係者など、多くの方々に役立つ情報を網羅し、疾患の正しい理解と早期発見・早期相談につながる内容を提供しています。

本サイトのリニューアルを監修された、千葉大学医学部附属病院 認知行動療法センター 教授であり、日本不安症学会 理事長の清水栄司先生は次のように述べています。

「GAD は、複数の出来事に対する過剰な不安や心配が長期間続き、日常生活に深刻な影響を及ぼす疾患です。しかし、その実態は一般には十分に知られておらず、適切な支援につながらないまま、自分では『大したことではない』『我慢すべきだ』と不安を抱え続けている方が少なくありません。しかし、GAD は適切な治療によって改善が望める疾患です。

今回公開された本サイトは、GAD に関する正確で分かりやすい情報を提供し、必要な支援へつながる“入り口”となることを目指しています。症状の整理、治療の考え方、セルフチェックなど、患者さんやご家族、さらには支援する立場の方々にも役立つ内容が揃っています。情報へのアクセスを改善し、早期の相談につながる取り組みは、心の健康をめぐる社会的課題の解決において極めて重要だと考えています。

本サイトが、GAD への理解を深め、支援につながるきっかけとして広く活用されることを期待しています。」

ヴィアトリスは革新的な新薬からジェネリック医薬品まで幅広いポートフォリオを通じて、希少疾患から慢性疾患まで多くの疾患領域をカバーするユニークなヘルスケア企業として、今後も私たちのミッション『世界中の誰もが人生のあらゆるステージでより健康に生きられるよう貢献します』の実現に向けて、医薬品の提供のみならず、疾患啓発を始めとする適切な情報提供にも尽力してまいります。

■主なコンテンツ

1. GAD とは
 - ーGAD に関する下記の情報を整理し、ご自身の状況や対策への理解をサポートする内容を掲載
2. GAD のセルフチェック
 - ーご自身の心配や不安をチェックし、GAD の疑いを確認できるスクリーニングツール（GAD-7）を掲載
3. 医療機関検索
 - ーGAD について相談可能な医療機関を検索できます

※そのほかのコンテンツも順次追加予定です



【全般不安症について】

全般不安症（GAD）は、複数の出来事や活動に対して、慢性的にコントロールできない「不安」や「心配」を中心症状とする疾患です。不安や心配に加えて、十分な睡眠がとれなくなったり、筋肉が緊張して凝ったりなどの身体症状や、落ち着かない、疲れやすい、イライラする、集中できなくなることで、生活や仕事において深刻な機能の障害を起こすことがあります。

【ヴィアトリスについて】

ヴィアトリスは、世界中の誰もが人生のあらゆるステージで、より健康に生きられるよう貢献することをミッションとするグローバル・ヘルスケア企業です。私たちは、独創性と確固たる決意をもって果敢に取り組むことで、世界中の患者さんのニーズに応えています。新薬の開発、必要とされる医薬品の安定供給の確保、大胆なイノベーションの追求など、あらゆる場面において、大規模かつ持続可能で効果的な解決策を提供しています。当社は、ジェネリック医薬品、実績のあるブランド医薬品、そしてアンメットメディカルニーズが顕著な領域における革新的な医薬品まで、幅広く機動的なポートフォリオを通じて、社会にインパクトを与えることを目的として設立されました。ヴィアトリスは米国に本社を置き、ペンシルベニア州ピッツバーグ、中国上海、インドのハイデラバードにグローバルセンターを有しています。詳細については、viatris.com および investor.viatris.com、[X \(旧: Twitter\)](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#)、[YouTube](#) をご覧ください。

<注意事項>

本リリースに記載されている製品に関する情報は当社の情報開示を目的としており、当該製品の宣伝・広告を目的とするものではありません。

参考文献

- 1 高橋 三郎 ほか監訳; “II 診断基準とコード 5 不安症群/全般不安症” :DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル 医学書院 p242-246
- 2 Stein DJ, Kazdin AE, Ruscio AM, et al. Perceived helpfulness of treatment for generalized anxiety disorder: a World Mental Health Surveys report. BMC Psychiatry. 2021;21(1):392.
- 3 Matsuyama S, Otsubo T, Nomoto K, Higa S, Takashio O. Prevalence of Generalized Anxiety Disorder in Japan: A General Population Survey. Neuropsychiatr Dis Treat. 2024 Jun 26;20:1355-1366.